

## 平成 26 年度 第 1 回古賀市男女共同参画審議会会議録

平成 26 年 4 月 28 日(月)

15 : 00～17 : 00

303 会議室

市長あいさつ：省略

委嘱書交付：藤本芳博氏へ

自己紹介：省略

平成 26 年度審議会スケジュール(案)：省略

会 長 ご提案なのですが、総合評価を一年間まとめて言われても、約一年前にしゃべったことは忘れて、議事録ひっぱりだして見直すというのは、なかなか難しいですね。だから、議事録を送ってきていただいた時点で、この「重点施策における審議会評価・意見(案)」もまとめて送っていただく。そして、その次の審議会のときに、通常の審議をして、終わりのほうに前回のまとめが妥当かどうかの粗方の検討をするというふうにしたらどうか。でないと、前の議事録を引っ張り出して、読み比べるというのは、〇〇委員しかできませんので、そういうのは一人に負担をかけるので、そういう形をご提案したいのですが、事務局対応できますか。

事務局 対応したいと思います。

会 長 そのほうがお互い負担が少ないと思いますので、そのようにさせていただきたいと思います。例え欠席する方がいても意見が出しやすいかなと思いますので、そのように今年はやりたいと思います。で、総合評価のとりまとめ(案)を事務局のほうが出していただいたのが、予めお手元にきていますし、今日の資料の中にもあると思います。特に、今回初めて来られた〇〇委員さんはこれだけもらってもなんの事かわかりませんよね。

委 員 何ページかは読んだのですが、なかなか。

会 長 本来はどういう課題があって、どういう担当課が答えを出していて、その横に審議会の委員の意見を横に並べて見られると、まだいいのですが、私たちは前の資料を引っ張り出せば、見られるのですが、新しい委員さんは前の資料がないとわからないのではないかとということで、先ほど遅ればせながら配っていただいたところです。今日は審議に入りにくいかなと思いますけれども、申し訳ございません。これに対して、〇〇委員からのご意見を白い紙でご自宅から印刷して持ってきていただいているのですよね。事務局案は目を通していただいていると思いますので、〇〇委員からの案をご説明いただければと思います。

委 員 いつも差し出がましくまとめを修正させていただいているのですが、実は、イヤごとを言うとかそういう意味ではなくて、今回送られてきたものを見ていて、私自身は議事録を全部確認しながら見直すという作業で修正させていただいていました。だいたい、正直申しましてほぼ3日、長いときは1週間近くかかることもありました。実は、これをやり始めたのが木曜日で、昨日の段階で、できる予定でしたが、不幸がありまして、上京を3日して、昨日の夜遅く帰って来たという状況で、ここまでしかできていないという状況です。そこで、ご提案なのですが、これと事務局の方に印刷していただいた、これはとても見やすいです。項目ごとに議事録が入っているからわかるのですが、今までは送ってこられた議事録をみて作業をやっていたのですが、これとこれを見ると枠が同じですから、平行移動していただければ、例えば、

一番上の仕切りのところが、これを見ながら修正させていただいたところです。2 番目がほぼ 2 ページ近くなっていますよね。それが、次の②になっているということですね。原案はどう見てもまとめにはなっていないと見える部分があるのですよね。おわかりでしょうか。

会 長 まず、具体的に一番上の議事録票とこの白い紙を見てみましょうか。それで、①家庭における共同参画・共同責任意識の促進という項目ですね。〇〇委員の修正案で見ると、黒字で書かれている部分が事務局案で、赤字だの線が引いてある部分が修正案ですね。ここだけを具体的にお願いします。

委 員 「誰でも参加できる～」で始まるのが事務局案です。それに、私自身は議事録を見て、それから、実施状況のこの辺りも確認しながら、まとめをさせていただいたのが赤文字で加えさせていただいて、最終的には消したところを消して、一応文章的には繋がるように考えております。ですから、最終的にはその作業をすれば、文章になるということです。今までも実はこういう作業をしていたのですけれども、1 枠目の一行詩についてのところは、割にまとまっていたといっは失礼なのですが、そんな感じだったのですが、2 番目になると中身的に切られている部分、つまり、意見としてはそれなりに出ていたのですが、落ちている部分もかなりあったわけですね。ですから、これを見ながら復活していった。実際審議会の中では、審議している訳ですから、結果的に書かないということは、審議していないということになるわけですから、話が前後してとか、横道にそれることもありますから、そういう部分で削るというのは OK ですが、審議した内容とこちらの表記がきちんと合っていないところが結構、今までもあったのです。というようなことを作業としてやったわけですね。2 枠目まで、「②男女が共に～」までは作業としては終わったと。小さい細かい字で言いますと、一枚目の裏側の段落がついたところですね。「①地域活動における女性リーダーの養成」前までをまとめたのが、私が出した白い紙の後半部分ということです。これでもまだ不十分かなと思いますが、このような形でまとめていかなければいけなくて、事務局案で OK と皆さんがおっしゃればそれで OK かなと思いますが、私自身は、みんなで真剣に討議したことなので、それが答申としてまとめとしてなるべきだろうという風に思うのです。これから先はお願いですが、私自身はここまでやっているのに、皆さんが「するな」とおっしゃらなければ、続けてさせていただこうかなと思っているのですが、枠が随分まだたくさんありますよね。ほとんどが数行でまとめてありますよね。でも、これと議事録を見直していただくと、中身が随分落ちていると思われる部分があります。これをつき合わせて、作業として長い文章をまとめていく作業はそんなにきつくないです。短い文章に付け加えるというのはものすごくエネルギーと時間が必要です。ということで、もし、この部分この部分と一つでも二つでも手伝っていただければ、原案を作っただけだとありがたいなと思うのですが。いかがでしょう、みなさんお忙しいので。

会 長 ポイントとしては、数値が入っていないということですか。

委 員 ある程度必要な数値はですね。

会 長 大きな違いを見ていくと、具体的な数値が担当課から出ていた、全体を見れば担当課の方に書いてあるというのものもあるけれども、審議会の意見評価となると、そこがないとあいまいになるので、具体的な今年度は 1,136 名というようにこちら側からよく数値を出してくださいと申し上げているわけですから、それが入っていないということも大きな違いですか。

委 員 はい、一つですね。ただ、今回一行詩で数を入れたのは、過去最高の応募があったということを書かなければならないわけですね。そうすると、数値がいるということで、審議会の中でそ

の数値が出たわけではないけれども、それがないと過去最高の意味がきちんと通じないということから入れたわけで、そういうのは、審議会の中で意見が出なくても、まとめの中である数値を使わなければならない部分があるわけですね。だから、それは空気として意見としてあるわけで、それも入れながらという作業をしなければならないという部分はあるのですが。一棹でも手伝っていただければありがたいなと思っています。最終的には、私自身は皆さんがOKとおっしゃればやるつもりはあります。

会 長 ただ、やったものの検証というのはどうなっていくのでしょうか。おまかせ状態というわけにはいかないですね。今日やるような、最終的な検証をどうやってするかというのが問題かと思えます。

委 員 今までも確か、会長と副会長におまかせするという形だったような気がします。

会 長 日にちがないときはそうですね、できたら、みんなに回して意見をお聞きして最終的に任せていただくということならいいのですが、そうでないとお一人だけ意見になってしまい、この会の意味がなくなってしまうですね。

委 員 急いで、メールとか封書で出して、もう一回これでいいかというのは必要でしょうね。

会 長 どうでしょうか。〇〇委員が今このようにして書き直していただいた精度でやるという案と事務局案でいいということですか。それとも、今日、できるだけしてしまうのか。とても具体的な内容にいただいたので、これの答申が生かされやすいですね。

委 員 個人的には、審議したことが落ちているというのが、まとめとしてはいかがなものかと思えますので。

会 長 〇〇委員はあちこちの審議会の委員をしておられると思うのですが、いかがですか。

委 員 これは、市長に出すのですよね。

会 長 そうですね

委 員 これを踏まえて行政に活かしてくださいということですね。

会 長 そうですね。ただ、これは24年度の実施状況ですけどもね。

委 員 どのくらいのボリュームで出すかということがあると思います。あんまり書き込んでも、議事録的に詳しいものは、しっかり読み込めば納得いきますけれども、お忙しいトップの人がそれほど目を通さないなら。

会 長 一応頭には、もっとこれを簡略化したものをまとめたものを一枚お読みして、あとは是非ご覧くださいということで、ただ、きちんと出しておく、担当課のほうにはフィードバックされますよね。

委 員 私自身は、担当課の方に読んでいただきたいと思って書いていて、市長が一番の鏡の部分だけでもいいかなと思っているわけで、でなければ担当課が何を言われているか分からない訳というのはどうかな、と思っていつも書いています。

委 員 一番いいのはこの審議した意見をつけておくのがわかりやすいと思いますが。

会 長 議事録をそのままのせられてもですね。

委 員 逆に読まれないでしょう。

委 員 どのくらいサマリーするかというところで、意見が分かれるところでしょうけど、これをいただいて、読んでどのくらい理解が深まるかというのは、審議会メンバーだったら思い出せるけど、そうじゃない方々が読んで、どのくらい深く理解してもらえるかというのだったら、このくらいはつけたほうがいいかなと思います。あまり詳しくなくてもいいし、簡単すぎてもい

けないというレベルでまとめあげるかというのが、会長、副会長の方向じゃないですか。

委員 私自身は、担当している課が自分のところだけ読んでもらえれば、それでもいいと思って。

会長 そうでしょうね、よそは見ないでしょうね。〇〇委員はいかがですか。

委員 何のためにこの要約を作っているかという次第で、送られてきたものだけ見れば、わかりにくいとか思わなかったのですけれども、〇〇委員が作られた修正案をみたら、こちらのほうが分かりやすいのはそうですね。でも、このボリュームで全体をいったら、要約したものとしては長すぎる感じになるのかなと思いますし、誰が読むことを想定してどれくらい詳しいものを作りたいのか。

会長 基本はその担当課でしょうね。読んでもらいたい所はですね。

委員 この事務局案は、前任がまとめているのでしょ。

会長 それは、そうです。毎回、事務局がまとめたものに対して、〇〇委員が修正案を出して、いつもご苦労されていたのですよね。しかし、〇〇委員ばかりにしわ寄せをするというのは、正しい姿ではないので、今年度は少しずつみんなで見ていきたいと思いますということですが、せっかくやってきた一年間のまとめをやっぱりよりベストな形にするということを前提に考えていきたいと思いますかね。

委員 では、とりあえず、私させていただきます。

会長 もちろん、私もいたします。

委員 もし、手伝っていただける方がいたら、個人的にでもお願いします。

委員 ちょっと確認したいことがあります。昨年、担当課に直接話を聞く場を設けていただきましたが、今後もそれは続くのでしょうか。

事務局 はい。

委員 だとすると、担当課が把握していることをあえてここに書き出しているところがあるので、担当課に見てもらいたいというなら、ある意味書かなくてもいいかもという気がするのですよ。発言をみていたら、数字とかをあげてくるのは担当課が出しているものが多いので、それに対しての審議会の意見ということで、シンプルにまとめるという方法もあるのかなという気がします。担当課がこないなら、文章に明記したほうがいいと思いますけれども。

会長 ただ、担当課の担当が代わっているということもあるのですね。例えば、総務課でも代わっていますので、やる中身はその方たちがやるのですけれども、そのとき来られた方たちが残っているとは限らないですよね。できるだけ、担当課の参考になるものを作っていくという方針で進めたいと思います。表現というのは、その人のセンスになるのでなかなか難しいですよね。そこはある程度は目をつぶっていただかないと。

委員 もしよかったら、2つだけでも読んでいただいてもおかしいというところがあれば、指摘していただくと、この部分はクリアできますが。

会長 では、読んでいみましょうか。○「一行詩」については、(修正案読み上げ)。よさそうに思いますが。

副会長 言葉にこだわってしまうのが、私の癖なので、「盛衰」の衰は源平盛衰記みたいであり好みではないですね。これは、盛んであったり、若干盛り上がり欠けたりするということで、衰ということは衰えるということなので、衰えてはいないですよね。

会長 大小ではないけど、そういう量の問題ですよね。

副会長 そうそう、客観的な、「衰」というのは若干感情的なものがあるような。最初の事務局案から

そうなっているのです。それから、ありがちですけれども、「大いに評価したい。ただ、」とここでネガティブな表現ですけれども、むしろ、僕の感じからいきますと、「なお」と柔らかく表現する。「ただ」と言うと、せっかくやってくれていいよ、ただ、と言ったとたんにパチッと叩く感じがするので、「なお」くらいのほうがいいかもしれないですね。

会 長 はい、そういうことでお願いします。盛衰は何か違う言葉を思いついたらどなたかおっしゃってください。

副会長 すみません、細かい話で大の男が言う話ではないのですけれども。

委 員 いやいや、いいですよ。なるべく原文を活かしたいと思っているところがあるので、でも確かにそうだと思います。

委 員 「年度で増減はあるものの」というのは。

会 長 ああ、いいですね。②修正案よみあげ。

委 員 長いし、ちょっとよくないですね。

副会長 どこか切ったほうがいいですね。

委 員 原文を見ると通じなかったのですね、「換えた」という表現がなかったのです。

会 長 途中から読み上げていて、あれっ、と思いました。

委 員 25年度から変わっているのですよね。

会 長 「その現状を踏まえ、25年度は」ときたらどうですか。

委 員 25年度を先に持ってくるのですね。

会 長 25年度はこう変えているので期待したいということで。前のほうの続きかなと思って読んでしまいました。

副会長 「現状である。その現状を踏まえ、」というのが「これ」という一語で済むような気がします。

委 員 そうですね、現状が被っていますね。

副会長 それから、「内容、事業名ともに衣替えを図り、」の「衣替え」という言葉がですね、他にいい言葉がないのかなど。内容は衣じゃないですよ。だからそこを包括するようないい言葉があるといいなと思います。「図り」という言葉も要らないですよ。図った後、現状はやっちゃっているわけですよ。だから、「図り」ではなくて「変更し」とか「全面改訂し」とか。

会 長 上が要らないかもしれない。これを踏まえ、25年度は「子育てのスキルアップの具体的な手法を取り入れた」新たな事業である「イクメン道場」と名称を変更して実施されており、でいいのではないですか。

副会長 それでいいです。

委 員 はい、OKです。

委 員 当時のやりとりは、母親の参加が多い現状も踏まえて名前を変えるということでもないと思ったのですが。

会 長 これは、でんでん虫という事業をしていたので、そこにお母さんたちがきています。そこに、父親教室をしたのだけれども、お母さんたちは対象じゃないから、出て行きなさいというわけにはいかないのです。そのままお母さんたちも残って参加しているので、お母さんが多いのですよというやり取りでしたよね。

委 員 ただ、イクメン道場って明らかに男性対象ですよ。

委 員 だから男性対象にしたいというふうに議事録ではとりましたけど。それを強調する意味で名前を変えたのだよ。

- 委員 それを踏まえというのは、改善するためという意味ですか。現状を取り入れて、現状に合わせて名称を変えると文章的に思ってしまったのですけれども。
- 委員 でも、もう一回読み直してみますね。
- 会長 そうしたら、ここに目的を入れないとね。父親の子育て参加をさらに図るためにとか、入れるといいのかもしれない。
- 委員 今、議事録と見比べているのですけれども、父親の参加が少ないから、名前だけ変えたのか、中身まで替えたのか。
- 会長 これに対して、子育てのスキルアップの具体的手法を取り入れてしますというのが回答でしたよね。
- 委員 内容も変えたのは、そういう主旨でしたよね。
- 会長 あの時は、具体的な手法を取り入れるので、新たにしますよ、だから、男性の参加が図れますよというふうに受け取ったのですけれどもね。
- 委員 ここで、私と〇〇委員で質問しているのですが、記憶がちょっとあいまいですが、男性がもっと参加するよというものが主旨だったように思いますが。
- 会長 でも、「父と子のつどい」としても「イクメン」としても一緒かしら。でも、そういうことをするということで、今期答えが出てくるので、どうなったか期待しましょう。
- 委員 父とするよりもイクメンにしたほうが、若いお父さんが飛びつきやすいということもあったのかなと思って。
- 会長 では、次。○小学5・6年生向け～（修正案読み上げ）。
- 委員 これは、本当は「ただし、」から始まる4行目から書くのが本当ですよ。ところが、原文を活かそうと思うもので、こんなふうに上下がひっくり返った形になっているので、もしよかったら、ここは「認知サポーター養成講座」から始まる文章に書き換えます。あのときの議事録からは、そんなに男性が多いのという話から、ジュニアサポーターの話が出てきたのですよね。だから、逆になっているのです。それから、介護教室も全然ここには、話が出てきていないので、最後におまけっぽく付け加えただけですけれどもね。
- 会長 しかし、評価したいというのが先のほうがいいような気がします。
- 委員 いいですか。それも思ったのですよ。
- 会長 あれもいかん、これもいかんというよりは、評価したいが先のほうがいいような気がします。
- 委員 では、このままにします。
- 会長 あのとき、生徒は生徒という書き方をしなさいという言い方をしましたよね。副会長が言われたように、ミスリードだと。私もそう思いますね。
- 副会長 「これはとても大きな成果であり」というのは、「成果」というのは内容が伴っているから、成果ですよ。子どもたちに、認知症について理解してもらうことは、とても大きな成果で、助け合いの精神が向上させる努力は十分評価されるべきだけれども、それに基づく大きな成果を期待したいみたいな、もう、大きな成果になるのですかね。助け合いの精神を大きく向上させたかどうかもわからないですよ。向上させることは尊いですよ。子どものころから、おじいちゃん、おばあちゃんボケがきた人達に優しくしてあげてね、助けてね、というのは、非常にいい取り組みですけれども、次にくるものが大きな成果のような気がするのですけれども。そこはどうですかね、言葉のニュアンスとしては。
- 会長 では、「向上させることは大いに評価したい」でいいですか。

委員 向上させる可能性が大きいということですよ。

副会長 そうでしょうね。今後こういうことの取り組みが拡大されていって、大きな成果をあげることが期待したいみたいな、そういうことでしょうね、成果というのは。すみません、言葉尻だけ捕らえるというのは、一番好きじゃないのですけれども。

会長 でも、文章にのこったらそれが最後ですからね。

委員 精神を向上させる方向に行く可能性が強いというような意味のことを書けばいいですね。

会長 そんなにあいまいに言わなくても。

委員 いいですか、言い切って、向上させると。

副会長 こういう取り組みは他地域でもやっているのですかね。子どもたちに認知症について正しく理解してもらうという。

事務局 すべての地域というわけではないはずです。結構古賀は、ある程度認知症サポーターは先進的にやっている方です。

会長 この養成講座というのは聞いたことがないですよ。

委員 ジュニアでは聞いたことないです。

会長 新聞に載せましょう。

副会長 担当課を褒めてあげるのだったら、非常に先進的な取り組みで、評価したいと言え。どこでもやっていますと言われたら、ちょっと辛いですがけれどもね。よそに比べたら先進的だと評価してあげると奮い立つような気がしますけれどもね。

委員 先進的取り組みをいれましょう。

会長 いや、ちょっと確認してもらいましょう。でも、よそがやっけてもうちがやったのなら、それはいいことです。ただ、先進的かどうかは確認した上で。では、2番目の○まではいいですかね。では、3番目の○24年度の母子手帳交付者 549人であり、～（修正案読み上げ）

委員 一行目は24年度の母子手帳交付者「は」がいますね。

会長 これは、549人のうち、来た人は219人でした。そして、父親の参加をもっと求めるという主旨ですね。それとも、すこやか教室にこれだけしかきていないよということですか。

副会長 父親とパートナーというのは、イコールですか。

委員 イコールです。

副会長 そうすると、男性のパートナーは若しくは父親の参加は、初産婦については28人、経産婦については3人と少ないとパートナー、パートナーというのが、気になります。

委員 議事録からとったので。

副会長 同性愛の時に、パートナーと言う気がするのですね。

委員 予防健診課がそう言っているのですよ。

副会長 これは、学術用語ですか。

委員 学術用語じゃないのですけれども。

副会長 父親というのと、パートナーというのは。

会長 夫とは言えないのですか、父親は子どもの親ですから。

委員 配偶者・パートナーとか

副会長 やはり結婚していない人とかいるから、デリケートだと思うのですよ。パートナーの意味が良く分からなくて。ジョディ・フォスターが結婚した件は、パートナーですよ。夫と言ったら変だし。

- 委員 でも、担当課がパートナーと答えているから意味があるのでしょうかね。
- 事務局 結婚していないということもあるので、法的な縛りはないと思うのですが、通常、現場で使っている言葉です。
- 副会長 でも、物理的に子どもの父親は、母親のパートナーだから、父親と言えばまとまった表現になるのではないのでしょうかね。
- 会長 父親のパートナーは初産婦と経産婦に分かれているので、それを言い表すためにこうなっているのですよね。これがなければ、「父親の参加は31人であり」でいいけど、初産婦と経産婦に分けている苦肉の策の言葉じゃないですかね。
- 副会長 父親の参加は初産婦については何人、経産婦については何人、そこにまたパートナーと入ってくるので、何か意図があるのかなと。
- 委員 わかりました。パートナーを消しても通じると思います。
- 委員 できるだけ、文章は短いほうがいいわね。
- 会長 私は、これは問題がないように思いますが。
- 委員 いや、父親の参加が少ないよと。
- 会長 経産婦の場合と分けないといけないのですかね、と思っているだけです。
- 委員 ただ、あの時は、やっぱり経産婦は少ないよという話の流れはありました。
- 委員 会長の発言にあります。
- 会長 私は、2回目だったもういいかと思っていましたが。
- 委員 母親も行かないしね。ただ、気になるのが、担当課が出してきた数字は、数字でそれに対する評価と分けないといけないのかなと。もっと箇条書きでかけるのかな、と思うのですね。実績とそれに対する評価みたいな感じの書き方にしたほうがわかりやすいのかなと。
- 委員 でも、ここの数字もはじめ出てきたものには入っていなかった数字ですね。
- 委員 やりとりのときに、担当課が実績として持ってきたので、その場で分かった数字ではあるけれど、実績として担当課が把握している数字としては、淡々と箇条書きで書いていっても構わないかなと思います。もっと言えば、あの場で持ってくる前にさきに、あげていてくれたらいいのだけど。
- 委員 そうそう。それを書いて欲しかったということを審議会としては毎回言っていることで、それは書いておくべきかな、と思うのですね、担当者が変わりますからね。
- 会長 違和感があるとすれば、数値とか成果の担当課が出してきたものは、担当課がわかるように書いて、意見は意見として分けて書くという方針でいきますかね。
- 委員 かえって難しいかもしれない。
- 委員 文章的になるべく短くなるようにというのは、努力いたします。
- 会長 それで、ここまで終わったわけですけども、あと1時間。ここで、〇〇委員の案を検討させていただいて、その他を先にさせていただいて、時間いっぱいせっかく議事録があるので、1項目だけでもやってみましょうか。その他のところをお願いいたします。

事務局より説明：省略

- 会長 はい、あと30分くらいありますが、項目を選んでしまいましょう。
- 委員 残り31項目ですね。1年目は多めにやりましょうと選んだのですね。
- 会長 慣れてきたというのもありますね。
- 委員 あとは、あまりバラバラにならないようにしましょうと。では、16項目とかにしておけばいい

のですね。それか、3年目を少し軽くするなら、もう少し頑張るとか。

委員 今、話されている内容の工程がわからないのですが。これは、大きく基本目標を掲げて今年はこちらをしよう、あれをしようと言っているのですか。

委員 黄色と橙色が去年やったものです。白いものを26年と27年でやらなくてはならないです。

会長 私たちのこの審議会の任期は26年度までです。

委員 3年目はきっとまとめをしなくてはいけないから、余裕を持ったほうがいいので、一番上のⅠとⅡの1が18項目あるのですよ。この上の部分を全部やったらどうですか。3年目は残りだから少なくなりますよね。13項目かな。

会長 私たちはそれでいいけど、新しく委員になった方は、残りばかりになると担当課が偏るかなと思って。子育て支援と総務課ばかりになるでしょ。人事とかが入ってこないから、特に新しく何人か入れ替わったところには、少しバランスを持たせてしたほうがいいのではないですかね。これを見てきついのはどっちですかね。

副会長 きついのをやるべきでしょうね。新任の方に来てすぐはなかなかね。

委員 上と下はきつさの意味が全然違うからですね。どっちがきつかという話でもないのよね。

会長 例えば(1)ばかりやっていくとか、そうすれば次の期の方も人事もあれば子育て支援もという形になるのかなと。

委員 まんべんなく選んで、まんべんなく残すと。

会長 子育て支援ばかりとなるとアンバランスかなと。(1)の項目だけをやってしまったら多すぎるかな。

委員 (1)だけ選べば11項目です。基本施策の(1)だけ選びます。そうすると①②で2項目、次の段の(1)を選べば①②で2項目ですね、という選び方です。

副会長 特定の担当課に偏るとえらい迷惑ということになりかねないので、担当課のバランスをとったほうがいいのかもしいですね。

会長 (2)を残せば、総務課経営企画課、生涯学習推進課、図書館、人権センターが残るでしょ。

副会長 バランスよく残りますね。

会長 数は11。ちょっと足りないね。ワーク・ライフ・バランスがたくさんあるからこの辺りを少し。

委員 ワーク・ライフ・バランスは概念が広いから難しいよね。ここを少し片付けて置いたほうがいいですね。

会長 少なくとも、ワーク・ライフ・バランスの(5)と(6)。

委員 (5)と(6)を選ぶと総務課系が多くなるのかな。子育て支援がいっぱい残りますね。

委員 子育て支援で緊急を要するのは、クローズアップ現代とかでやっているのは、(4)。

委員 ひとり親ですね。

会長 では、(1)と(4)。子育て支援をとってしまっていていいですかね。ここで両方してしまうと、次回に子育て支援が残らないのよ。(1)の代わりに(4)にしますか。それでもいいですよ。ここは(1)はやめて(4)にしましょうか。

委員 もうひとつくらい選ばないといけないですよ。

会長 (6)豊かな高齢期、それとも(5)重複差別。

委員 シニア時代に生き方というのも手探りだもんね。

会長 担当課でみていきましょう。(2)リプロ。リプロという概念は難しいだろうね。

委員 言葉の浸透度はないと思う。

会 長 リプロ片付けましょうか。基本方向 2 生涯を通じた健康管理への支援は(1)と(2)両方してしまうと。基本方向 1 ワーク・ライフ・バランスは(1)の代わりに(4)をする。これでいくつになった。これでも 12 項目だね。

委 員 まだ足りないね。

会 長 (2)市の機関における～というところをすると 4 項目になりますけどね。そうすると、人事課を全部とってしまうことになるね。

委 員 (3)をやっておいたほうがいい気がする。

会 長 じゃ(3)。これで 15 になったのではないですか。

委 員 では、確認してください。

会 長 上から、(1)固定的性別役割分担意識の是正①②。次の(1)教育現場における男女平等教育の促進が 2 項目。その下、(1)審議会、協議会等における男女共同参画の推進が 3 項目。それから、(3) 公共的機関、自治組織及び各種市民団体における男女共同参画の促進で 3 項目。ずっと下の方にあって、Ⅲの 1 ワーク・ライフ・バランスの確立と社会参画への支援で、(4)ひとり親家庭の自立に対する支援。その下、2 生涯を通じた健康管理への支援で、(1)と(2)。

副会長 15 項目

委 員 31 分の 15。

会 長 ちょっと足りないね。あと 2 項目だね。(2)の社会教育もいってしまおうか。

委 員 そうしたら、17 項目。いいんじゃないですか、多目のほうがいいと思う。

会 長 教育関係が抜けちゃうけど、生涯学習推進課が残っているし、学校教育が出てこないけど、仕方がないですね、1 箇所しかこないから。

委 員 どなたがまとめるかわからないけど、まとめの時期は余裕があるほうが絶対いいと思う。

会 長 じゃ、これで。

委 員 ちょっとだけ確認ですけれども、古賀市は子ども子育て支援計画が出ているのですよね。だから、ひとり親の評価を今やっているのですか。

事務局 多分、26 年度に実態調査をやって 27 年度にむけて計画をつくっていかなければならない時期です。

委 員 子育て支援課で 26 年度はまとめる年に入っているのですか。

事務局 実態把握はしていると思います。

委 員 ありがとうございます。

会 長 では、一応これで、17 項目選んだのですよね。残りの 14 項目は次の年に仕上げてもらうということで。なるべく皺寄せがいかないようにしたということで、よろしいのではないのでしょうか。他に何かご意見は。

委 員 次の審議会をもう 1 週間前にして、夕方にできる日にしたらどうでしょう。

委 員 今まで月曜日の午後というのが多かったですが、みなさんの都合はいかがですか。

会 長 19 日は別の会議が入っています。26 日も入っています。

委 員 僕は月・火・水ならいけます。月は遅めならいけます。審議会を 16 時からにしてもらえれば OK です。

委 員 この週は全部午後から詰まっているんですよ。

副会長 私は帯広に行っていて、昼の便で帰ってくるので這ってきますよ。

会 長 5 月 26 日の 16 時からで。